

# 6月は「環境月間」

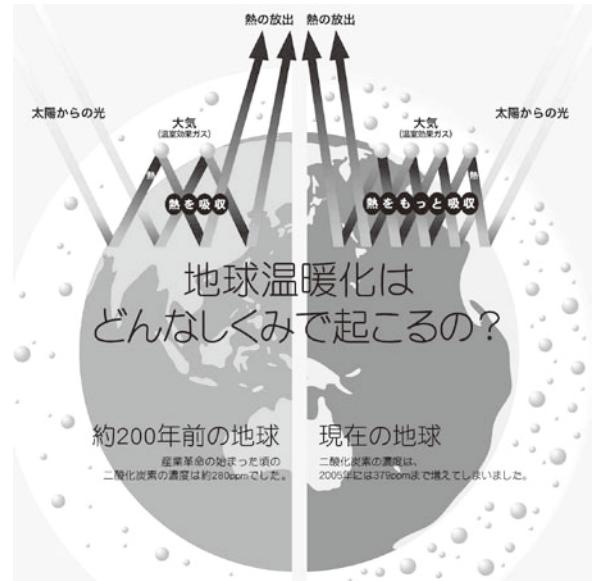
## さらに深刻化する地球温暖化

地球温暖化とは？地球を包んでいる大気には、二酸化炭素、メタンなどの温室効果ガスが含まれています。この温室効果ガスは太陽から降り注ぐ熱を逃がさないようにして地球の温度を一定に保つ効果がありますが、これが増えると、熱が地上にたまり、さらに地球を暖めてしまいます。これが「地球温暖化」です。

温室効果ガスの主なものは二酸化炭素で、これは、私たちの生活を便利にしてきた石油や天然ガスなどの化石燃料がその大きな要因となっているのです。

地球全体の気温はこの100年で約0.6℃上昇し、日本ではこれを上回る速さで温暖化が進行しています。このまま温暖化が進むと、2100年には、平均気温が約2℃上昇するとの予測もあり、今、世界のあちこちで、異常気象の多発、海面上昇、砂漠化などの現象が報告されており、このままでは、地球の生態系はもちろん人類にも甚大な影響がおよぶことが懸念されます。

国際的にも京都議定書に基づく各国での温室効果削減の取り組みが進められる中で、一定の効果は示しつつありますが、大量排出国の多くが目標に見合うとはいえない状況にあり、今後、先進諸国と振興経済国の共通理解のもとでの中長期的目標の設定とその実効性のある取り組みが期待されています。



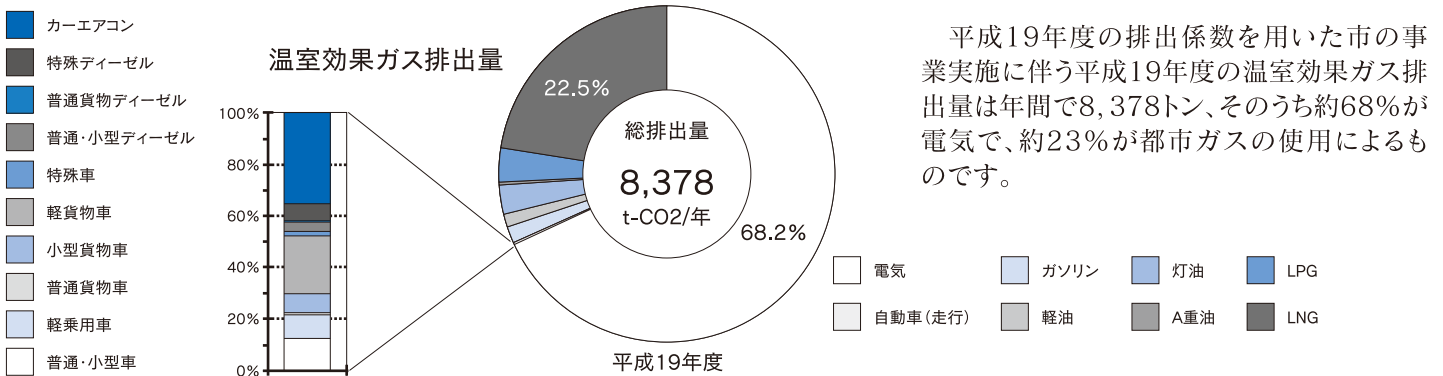
出典：全国地球温暖化防止活動センターウェブサイト

## 羽曳野市の取り組みについて

市では、平成14年度に「羽曳野市地球温暖化対策推進実行計画」を策定し、市の各公共施設の事務事業によって排出される温室効果ガスの排出量を平成22年度で、平成13年度比11

%削減を目標に取り組みを進めています。市ではこれまでの進捗状況を把握するため、平成19年度の温室効果ガス排出量の調査を行いました。

### 1. 平成19年度の温室効果ガス排出量



平成19年度の排出係数を用いた市の事業実施に伴う平成19年度の温室効果ガス排出量は年間で8,378トン、そのうち約68%が電気で、約23%が都市ガスの使用によるものです。

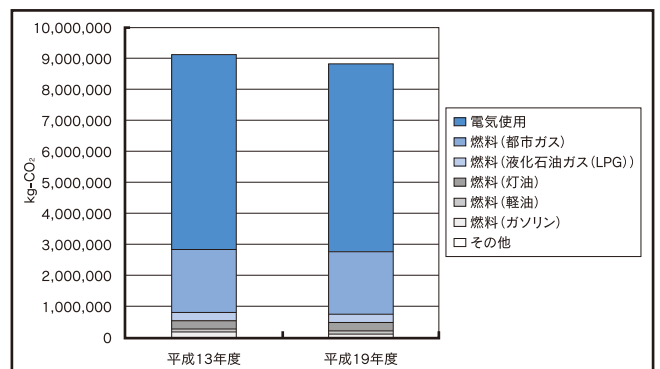
### 2. 温室効果ガスの平成13年度と平成19年度の比較

平成13年度と平成19年度のエネルギー使用等に起因する温室効果ガス排出量を比較するために、平成11年排出係数を用いて、排出量を比較すると、平成19年度は平成13年度に比較して3.2%削減していることがわかりました。

「羽曳野市地球温暖化対策推進実行計画」では、中間目標として「平成19年度における温室効果ガスの総排出量(二酸化窒素換算)を、平成13年度を基準として8%以上削減する。」としている点からしますと、目標には達していない状況となります。

今後、これまでの取り組みの再点検を行うとともに、特に多量の二酸化炭素を排出する部門において実効性のある削減対策を実施するなど取り組みを強化していきます。

エネルギー使用等に起因する温室効果ガス排出量の比較



## 身近にできる温暖化防止

### リビングでできること

- 電気カーペットは部屋の広さや用途にあったものを選び、温度設定をこまめに調整する。年間約2,000円～4,100円の節約。
- 冷暖房機器の不必要なつけっぱなしをしない。年間約400円～2,000円の節約。
- 照明は、省エネ型の電球型蛍光灯を使用する。年間約1,800円の節約。
- 人のいない部屋の照明は、こまめな消灯を心がける。年間約100円～400円の節約。
- テレビをつけっぱなしにしたまま、他の用事をしないようにする。年間約900円の節約。
- こたつは敷布団と上掛け布団を使用し、温度設定をこまめに調整する。年間約700円～1,100円の節約。

### キッチンでできること

- 食器洗い乾燥機を使用するときは、まとめて洗い、温度調整もこまめにする。年間約9,000円の節約。
- 洗いのものをするときは、給湯器は温度設定を出来るだけ低くする。年間約1,300円の節約。
- 冷蔵庫の庫内の温度調整をしたり、ものを詰め込みすぎないように整理整頓に気をつける。年間約1,000円～1,400円の節約。
- 冷蔵庫は壁から間隔をあけて設置する。年間約1,000円の節約。
- 冷蔵庫の扉は開閉を少なくし、開けている時間を短くするようにする。年間400円の節約。
- 煮物などの下ごしらえは電子レンジを活用する。年間約900円～1,000円の節約。
- 電気ポットは長時間使わないときは、コンセントからプラグを抜くようにする。年間約2,400円の節約。

### 浴室・洗面所でできること

- 洗濯する時は、まとめて洗うようにする。年間約3,900円の節約。
- お風呂は、間隔をおかずに入るようにして、追い焚きをしないようにする。年間約5,700円の節約。
- 温水洗浄便座は温度をひかえめに設定し、使わない時はふたを閉めるようにする。年間約300円～800円の節約。

### 車でできること

- 無駄な荷物を積んだまま運転しないようにする。年間約200円の節約。
- 経済速度を心がけ、急発進、急加速をしないようにする。年間約3,800円の節約。
- タイヤの空気圧は適正に保つようにする。年間約2,000円の節約。

### その他

- 電気、ガス、石油機器などを買う時は、省エネルギータイプのもを選ぶ。年間約8,700円の節約。

(出典：ECCJ 省エネルギーセンターHP「ライフスタイルチェック25における年間省エネ効果」項目別削減より作成)

## 環境騒音の状況・・・

市内の公園など幹線道路に面しない一般地域23地点で環境騒音調査を実施しました。また、市内を通過する5つの幹線道路沿道6地点で、24時間自動車騒音の監視を行いました。都市部の音環境は依然好ましくなく、夜型社会の進行や自動車の高速化などにより、環境基準の達成状況も悪化が見られ、一層の環境改善が課題となっています。

※数値は昼間、( )内は夜間。

表 一般地域の環境騒音の状況

	市内平均	A類型の地域	B類型の地域	C類型の地域
騒音レベル(LAeq)	57(49)dB	57(43)dB	53(42)dB	59(56)dB
環境基準値(LAeq)		55(45)dB	55(45)dB	60(55)dB
環境基準の達成状況	57(78)%	46(85)%	67(83)%	75(50)%

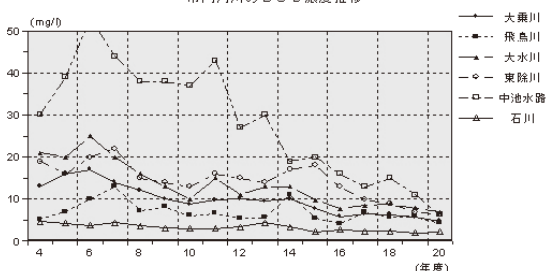
表 幹線道路の面する地域の環境騒音の状況

	市内平均	2車線以下の道路	2車線を越える道路
騒音レベル(LAeq)	71(65)dB	66(63)dB	71(65)dB
環境基準値(LAeq)		60(55)dB	60(55)dB
環境基準の達成状況		×(未達成)	×(未達成)

## 河川水質の状況・・・

河川水質を代表する指標であるBOD(生物化学的酸素要求量)は、石川、飛鳥川では環境保全目標値を達成していますが、その他の河川では全体的に改善の方向にあるものの、目標値達成には至っていません。今後も引き続き、生活廃水対策、下水道整備などの取り組みを進める必要があります。

市内河川のBOD濃度推移



## ダイオキシン(一般大気)の状況・・・

市域のダイオキシン類による汚染状況を把握するため、一般環境大気について、市内2カ所(市民会館・支所)で調査を実施しました。両地点とも年平均値は0.060pg-TEQ/m<sup>3</sup>で、環境基準値を下回っていました。平成15年度に大きく改善して以降、この間は同水準で推移しています。

